

ウサビ乱入 「古槇地区レクリエーション編」

ウサビ乱入 「古槇地区レクリエーション編」

2月11日、

桃色ウサビは、この日なぜか古槇地区にいた！！

ウサビ 「・・・あれれ？」



まだ、自分でも状況が把握できていない。

なぜこんなことになったのかというと。

この数日前、課長に

課長 「今度、私の住んでる古槇地区で

雪像作りともちつきあるから、中の人もまざんない??」

というお誘いがあり。常に食べ物に飢えている中の中人は

ふたつ返事で参加を決めたのでした。

そして当日。

雪像作りのため、スキーウェアを着込んで課長の到着を待っていると

課長 「おはよー！さ、ウサビは後ろの席に積んでね 」

と、のりのりの課長は、着ぐるみの積み込みを指示。

中の人 「え？今日は中の人雪像作りと餅つきをするって話じゃ??」

課長 「いやぁ、いろいろ考えたけど、やっぱ中の人じゃインパクト薄いかなって。」

中の人 「き、着ぐるみじゃ、雪像つくれないよ！！」

課長 「みんなを応援してくれればいいよ。きっと、その方がおもしろいよ！」

結果、着ぐるみで現地入するという流れになったのです。

車の中で詳しい話を聞くと、

この日行われるのは「古楨地区レクリエーション」という地域行事で、

地区のみんなが集まって、雪像作りと、昼食、ゲーム大会などをして、

みんなと交流を深めようというイベントなのだそうです。

そんな交流行事に、いきなりウサビでお邪魔して、

みんなを混乱させないだろうか…

中の方はわりと不安でいっぱいでした。



現地入り

そして、課長に連れられたまま、古槇地区のみなさんにご挨拶に



誘導されるウサビ



雪像作りにいそしむ、古槇地区のみなさん

課長 「みんなー。役場からウサビ連れてきました。」

かなりアバウトな紹介

ウサビ 「あ、おはようございます。ウサビです。なんか、急にきて、ごめんなさい。」

いきなり登場したので、さすがにみんなもわけがわかんないだろうなと思って

控えめにでるウサビ。

しかし…この予想は大きく裏切られることになるのです。

「うわぁ！ウサギ来た！」

「すごくふわふわしてる！」

「どこから？どこから(中の人)は見えるの??」



おばあちゃんたちから信じられないくらい、親しく歓迎されるウサビ



「写真とろうよー」と手を引かれるまま誘導され

みんなで記念撮影！



ウサビ 「すげえ歓迎ムードだ…」

課長 「ね、ウサビで来てよかったでしょう」

ウサビ 「古槇地区のテンションの高さに感激です！！」

というわけで、

古槇地区の皆さんには、ウサビとたっぷり交流していただいたのです。



記念写真もいっぱい撮ったよ

その後の昼食会からは

予定通りに中の人に参加。

(ウサビではご飯が食べられないからね)

りんごの集荷場にあつまって、みんなでおでんを食べました。



りんごケースに座って昼食というのが朝日町っぽい。



中の人からご挨拶

「今回、急に参加させてもらってありがとうございます。

ウサビ共々これからもよろしくお願いします。」

もちろん餅つきも参加させてもらいました。

課長と中の人で組んで餅をついたのですが、

2人の息はピッタリとはいかず、ときどき杵がぶつかる始末。

課長 「これは役場に戻ったら特訓が必要だな」



こういう時は、餅つき歌を歌いながらだと息が合うらしい。

そして、せっかくの交流の機会ということで、

お集まりのみなさんから、いろんなお話も聞かせていただきました。

古槇のこと、朝日町に対して思っていること、

桃色ウサヒや中の人にどんなことをして欲しいかなどなど。



焼きスルメや、銀杏をつまみながら、みんなと町のことを話す

普段思ってるけど、なかなか口にすることがない思い。

こうなればいいなあって思っているけど、形にするには敷居が高い事。

そういったみんなの思いを聞き、小さいながらも形にしていくことが、

中の人の仕事「**情報交流推進員**」の、大事な使命かなと感じました。

これからも、機会があれば積極的に地域行事に参加して、

みなさんといろいろお話できれば幸いです。

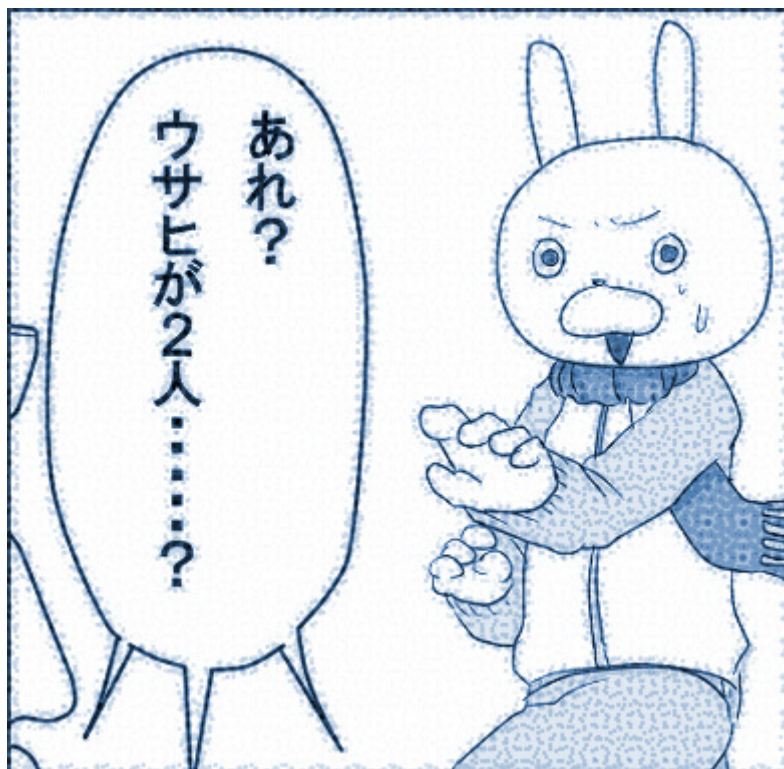
「ウサヒと中の人に来てもいいよ！」という行事・イベントがありましたら、

お気軽に、朝日町役場政策推進課(67 - 2112)までご連絡ください。

(下の書き込みフォームからでも OK です)

【お知らせ】桃色ウサビの Web マンガ好評連載中

ウサビが朝日町で大活躍する Web マンガです。



第3話好評配信中。

東北芸術工科大学の学生さんが制作しています。ぜひご覧ください。